

HPCI-CPD578 と HPCI-CPD578N の違い

CPDシリーズ・モーションコントロール・ボード である8軸位置決めHPCI-CPD578ボードをベースとしたHPCI-CPD578Nボードの追加変更機能について記します。

追加機能であるマスタ追従機能，並行2軸制御機能，スレーブ軸拡張機能が追加されています。

本葉中ではHPCI-CPD578NをCPD578Nと呼びます。

1. 追加変更機能一覧

追加変更機能	HPCI-CPD578	HPCI-CPD578N
エンコーダ入力周波数	4 M c p s (4 通倍)	6. 5 M c p s (4 通倍)
エンコーダ入力終端	ジャンパ設定	D I P スイッチ設定
リミットセンサ，S V / I F 入力フィルタ (±ELS, DLS, OLS, SVALM, INPOS)	1 0 0 0 μ s	3 0 0 μ s
マスタ追従機能 ※	—	あり
並行2軸制御機能※	—	あり
スレーブ軸拡張機能 ※	—	あり
オプションポートクリアレジスタ	なし	あり (+ a 8 Hにてリセット)
ボード I D	ジャンパ設定	ロータリーD I P スイッチ設定
J 3 コンパレータ一致出力	8 軸 (X ~ B) ポート(8 a H)にて ON/OFF 有り	4 軸 (X ~ U) ポート(8 a H)にて ON/OFF 無し
J 3 同期入力出力	—	あり (A相, B相 各1)
J 3 定速動作中(または汎用)出力 (T T L)	—	あり (X軸, Z軸 各1)
P C I 供給電源	+ 5 V	+ 5 V, + 3. 3 V
PRMD(動作モードレジスタ)の bit29 追加	—	CPD578N 個別ボード編にて解説
RENV5(環境設定レジスタ5)の bit11 追加	—	CPD578N 個別ボード編にて解説

2. 新規追加機能について

追加機能	仕 様
マスタ追従機能	X軸のエンコーダ入力または同期パルス入力をスレーブ軸(X~B)の指令パルスとして出力が可能
並行2軸制御機能	X軸をマスタ軸とし，X軸の指令パルスがそのままY(Z, U軸)から同期出力として出力可能
スレーブ軸の拡張	Z軸をサブマスタ軸とし，Z軸の指令パルスがそのままU(V, W, A, B)軸から同期出力が可能